

インフルエンザ 流行警報 解除

和歌山市では、平成30年第11週（3/12～18）の感染症発生動向調査において、インフルエンザの定点あたり患者数が警報解除基準（定点あたり10人）を下回る9.13となり、警報を解除しました。

今シーズンは、年末に注意報、年明け第3週に警報値を超え、警報発令から解除まで約2ヶ月（第3週～第10週）となる大流行となりました。また、ピークについても第4週の定点あたり患者数が70.53と過去10年で最も大きなピークとなりました。

現在、学校等の学級閉鎖、インフルエンザによる入院患者数はともに減少傾向にあります。ウイルスサーベイランスでは、依然としてA/H1・A/H3・B型が検出されています。

警報は解除しましたが、患者の発生は続いていますので、引き続き院内感染対策をお願いいたします。

■今シーズンの状況

		インフルサーベイ		ウイルスサーベイ				学校サーベイ	入院サーベイ
		報告数	定点当り	A/H1	A/H3	B ビクトリア	B 山形		
7週	2/12~18	515	34.33	2	5	1	8	23	12
8週	2/19~25	398	26.53	1	7	0	7	10	3
9週	2/26~3/5	283	18.87	1	6	0	1	8	2
10週	3/6~12	180	12.00	1	4	0	6	2	5
11週	3/13~19	137	9.13				4	3	0

ウイルスサーベイは3/20現在の速報値

■インフルエンザ患者報告数（インフルエンザ定点報告）過去5シーズン

